

KOKUGAKUIN Univ.

平成27年度

---

# 國學院大學法科大学院 学生募集要項

- 特待生入試
- 一般入試

I 期 (適性試験第 4 部活用型)
II 期
III 期 (適性試験第 4 部活用型)

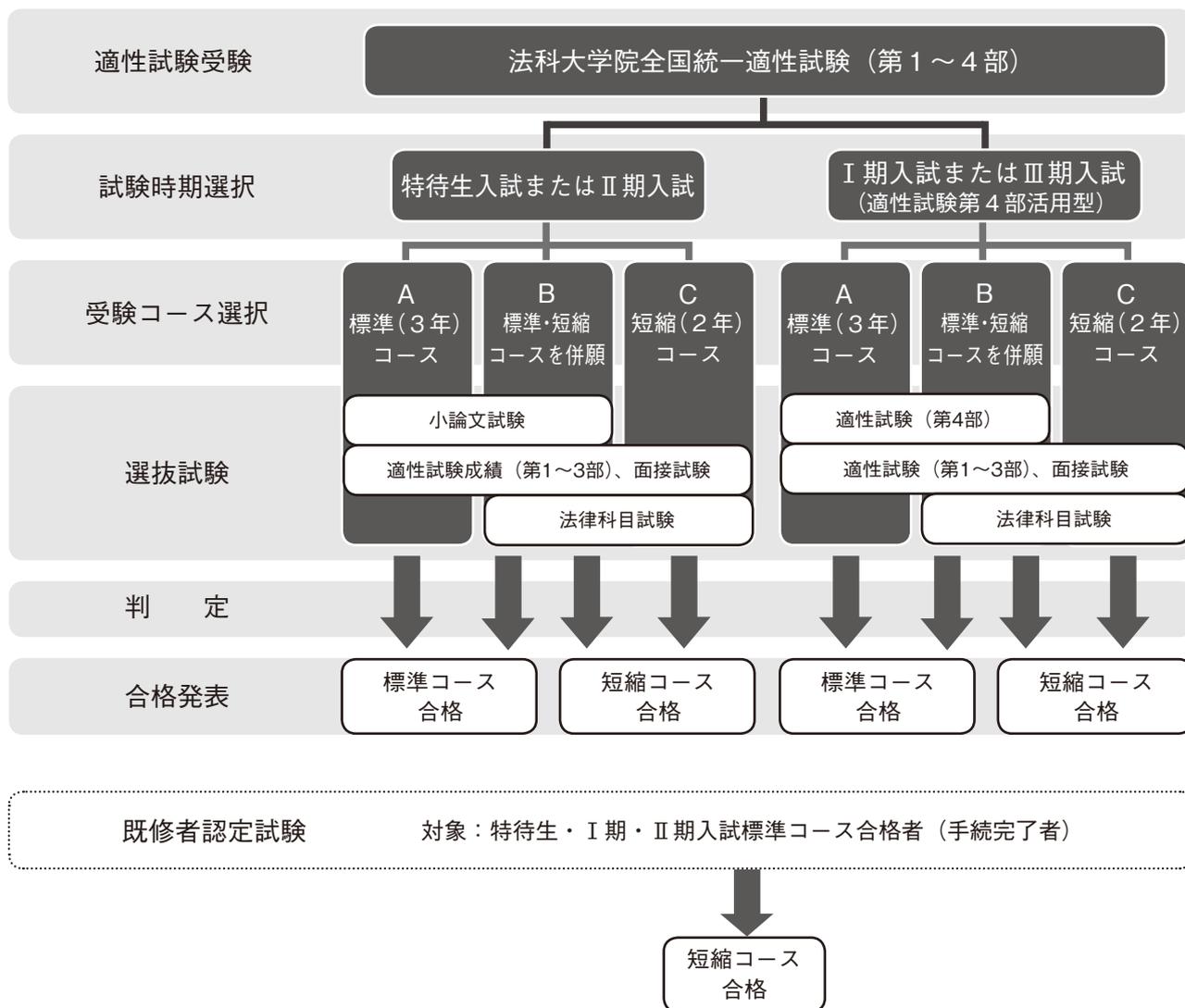
## 【目 次】

アドミッションポリシー	1
コース選択・出願・選考の流れ	1
1. 概要	2
2. 募集人員	2
3. 経済的支援について	2
【特待生入試募集概要】	
1. 募集コース及び募集人員	3
2. 出願資格	3
3. 出願手続	4
4. 出願時注意事項	5
【一般入試募集概要】	
1. 募集コース及び募集人員	6
2. 出願資格	6
3. 出願手続	7
4. 出願時注意事項	8
【特待生入試・一般入試共通】	
5. 出願期間・試験日	9
6. 入学検定料	9
7. 選抜試験	10
8. 試験会場	12
9. 受験上の注意	12
10. 合格発表	13
11. 繰上げ合格候補者について	13
12. 標準コース合格者の既修者認定試験について	13
13. 入学手続	13
14. 入学時納付金	13
15. 各種奨学金制度	14
16. 入学辞退等による学費等の返還について	14
17. 平成27年度入学試験成績開示について	15
18. 地図	15
*個人情報取り扱いについて	16
*募集要項アンケート	16
*コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法	17
*入学志願票（A票）記入例	18
*写真票（B票）～振込依頼書（E票）記入例	19
*本学所定用紙（入学志願票（A票）・写真票（B票）～振込依頼書（E票）・成績報告書・志望理由書・推薦書）	

## アドミッションポリシー

國學院大學法科大学院は、「地域」とともに生き、「地域」に寄与し貢献できる法曹（ホームロイヤー）の養成をめざしています。こうした観点から、私たちは、地域社会に生起するさまざまな問題に対して興味と関心を持ち、自らの社会経験のなかで培った幅広い視野や知識を生かして、法を使いこなして地域社会の諸問題の解決に役立てようとする気概と情熱をもった人材を求めています。また、地域に生きる多様な人々の思いを受け止めることのできる多様な人材を社会の各層から広く受け入れます。

### コース選択・出願・選考の流れ



## 1. 概要

名称・課程	國學院大學大学院法務研究科法務職専攻
修業年限	標準（未修者）コース・・・3年
	短縮（既修者）コース・・・2年
学位	法務博士（専門職）

## 2. 募集人員

入学定員	試験制度	試験期	募集コース	募集人員
15名 注)	特待生入試	7月	標準・短縮	5名
	一般入試	I期（適性試験第4部活用型）	標準・短縮	10名
		II期	標準・短縮	若干名
		III期（適性試験第4部活用型）	標準・短縮	若干名
	社会人特別入試 （企業・官公庁推薦型）	I期	標準	若干名
		II期		
		III期		

注) 入学定員は、文部科学省に届出（6月中を予定）を行い、平成27年度入学者から適用する予定です。

※標準コース、短縮コースの定員区分はしていません。短縮コースについては、法律科目試験の結果により、入学定員の40%程度を目途として入学者を判定します。

※特待生入試及び一般入試では、標準コースと短縮コースを併願できます。

※一般入試〔II期〕募集人員は、入試状況により確定します（9月下旬頃、大学ホームページにて発表）。

※社会人特別入試の詳細については、「法科大学院学生募集要項 社会人特別入試（企業・官公庁推薦型）」を参照してください。

## 3. 経済的支援について

本法科大学院では、学業支援のため、以下の経済的支援制度を用意しています。

### 【特待生入試制度による入学者】

原則として標準コース生は3年間、短縮コース生は2年間、学費及び施設設備費を全額免除します。

※2年次以降は、学年成績上位40%以上などの所定の要件を満たした場合に免除となります。

### 【一般入試制度による入学者】

國學院大學法科大学院奨学制度及び國學院大學法科大学院適性試験特別奨学制度があります。

奨学制度については、14ページを参照してください。

# 特待生入試募集概要

## 1. 募集コース及び募集人員

募集コース：標準（3年）コース・短縮（2年）コース

募集人員：5名

## 2. 出願資格

標準コース志願者については、次のア、イのいずれかを満たしている者

短縮コース志願者については、次のア、イ、ウのいずれかを満たしている者

ア. 次の（1）、（2）の要件をすべて満たしている者

（1）法学部または法律学を主たる専攻とする学科を、平成24年3月以降に卒業した者

または平成27年3月卒業見込の者

（2）以下のいずれかを満たしている者

①出願時に最終学歴（卒業見込者は3年次終了時）の成績が、以下の条件を満たしている者

修得科目数（資格・教職科目を除く）を計算の基礎として求められる学業成績の平均\*が「2.1以上」であること

②卒業論文、演習（ゼミ）で優（A）以上の成績を修めている者

\*平均値の算出方法：100点満点中80点以上をA、70点以上80点未満をB、60点以上70点未満をCとし、A、B、Cそれぞれを3、2、1点とする。修得科目の成績を換算した点数に単位数を掛け合わせたものを合計し、さらに総単位数で割ったものとする（不合格科目、合否科目、認定科目は除く）。

イ. 本法科大学院が上記アの要件に該当する者と同等以上の学力があると認めた者（要受験資格審査）

出願資格について不明な場合は、法科大学院事務課にお問い合わせください。

ウ. 法科大学院修了者で、司法試験または司法試験予備試験の短答式試験に合格している者

※障がい等により、受験・修学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願期間前に必ず法科大学院事務課にお問い合わせください。

## 受験資格審査・学力確認

出願資格イに該当する場合は、受験資格の有無について書類審査および面接を行います。希望者は、**事前に必ず本法科大学院事務課にお問い合わせたうえで**（問い合わせは受付期間前でも可）、以下の受付期間内に必要書類を郵送してください。

受付期間	受験資格審査・学力確認日 注1	結果通知 注1
平成26年6月18日(水)～6月20日(金)	平成26年6月24日(火) 11:00	平成26年6月26日(木)

\*受付時間は、平日の9時から17時（12時40分から13時40分を除く）、受付期間最終日は16時まで

注1 予定日であって、正式な日時は審査時に個別に連絡します。

**必要書類** 以下の書類は、受付期間内に簡易書留で郵送してください。

（送付封筒に「受験資格審査書類在中」と朱書きのこと）

①履歴書（市販のもの可・3か月以内に撮影した無帽無背景の写真を貼付すること）

②最終学校の卒業（見込）証明書、修了（見込）証明書、退学証明書のいずれか

③最終学校の成績証明書

④法律学に関する学力が優れていることを証明する書類

※証明書は④を除き、発行から3か月以内のものに限ります。

### 3. 出願手続

(1) 出願コース選択

出願時に、志願するコースを選択します。

志願票各票の入試コード記入欄に、該当するコード、選択記号欄に選択記号を記入してください。

出願するコース	出願コース選択記号	特待生入試コード
標準コース(3年)志願=Aコース	A	S39A
標準・短縮コース併願=Bコース	B	S39B
短縮コース(2年)志願=Cコース	C	S39C

(2) 出願書類

出願用封筒を使用し、5. 出願期間・試験日に記載の出願期間内に到着するよう、簡易書留で郵送してください。

提出書類		注意事項
必須提出書類	① 入学志願票 (A票) 〔本学所定用紙〕	18ページ記入例参照。 ・3ヶ月以内に撮影した鮮明なカラー写真(無帽、正面、上三分身(肩から上)で無背景・スナップ写真不可)を貼付すること。 ・振込金確認書(C票)またはコンビニ収納証明書を所定の欄に貼付すること。
	② 写真票 (B票) 〔本学所定用紙〕	・3ヶ月以内に撮影した鮮明なカラー写真(無帽、正面、上三分身(肩から上)で無背景・スナップ写真不可)を貼付すること。
	③ 平成26年度実施法科大学院全国統一適性試験受験票のコピー	2回とも受験した方は、両方の受験票コピーを同封すること
	④ 出身大学・大学院の卒業・修了(見込)証明書	・複数校卒業(修了)している場合は、それぞれの大学・大学院のものを提出すること。※退学した場合は、退学証明書を提出 ・発行日から3か月以内のもの。 ・証明書の氏名が異なる場合には戸籍抄本等を添付すること。
	⑤ 出身大学・大学院の成績証明書	
	⑥ 志望理由書〔本学所定用紙〕	・用紙は末尾に添付。本学ホームページからダウンロードすることも可能。 ・法曹を志望する理由を1000字から2000字で記入すること。
	⑦ 成績報告書〔本学所定用紙〕	出願資格Aで受験する者は提出 ・用紙は末尾に添付。 ・出身大学の学業成績の平均値を算出し、記入すること。
	⑧ 司法試験または司法試験予備試験短答式試験成績通知書のコピー	出願資格Uで受験する者のみ提出
	⑨ 受験票送付用封筒(長3)	・郵便番号、住所、氏名を記入し、362円分の切手を貼付すること。
任意提出書類 (5ページ参照)	推薦書〔本学所定用紙〕	・用紙は末尾に添付されているものを使用すること。 ・出身学部・大学院の指導教員が記入したもの。 ・推薦者の自筆署名・捺印があり、本学所定の推薦書用封筒に厳封してあるものに限る。
	その他	・各種資格取得証明書 ・法律科目試験加点のための資料等
該当する場合のみ	外国人登録原票記載事項証明書 または住民票記載事項証明書	外国籍の場合は必ず提出すること。 ・国籍、在留資格、在留期間等が記載された、発行日から3か月以内のもの。

(3) 法科大学院全国統一適性試験の成績について

平成26年度法科大学院全国統一適性試験の第1～3部の成績は、筆記・面接試験日に、「成績証明カード」(原本)を未開封の状態を持参し、提出してください。当日提出がない場合には、選抜試験を受験できません。

(4) 志望理由書の提出延期について

出願書類⑥「志望理由書」については、提出を延期することができます。志望理由書の提出を延期する場合には、出願書類①「入学志願票」の所定欄に○をつけて出願してください。なお、志望理由書は以下の期日までに到着するよう簡易書留で郵送してください。

〔特待生入試〕平成26年7月7日（月）

※延期締切日16時までに志望理由書の提出がない場合には、選抜試験を受験できません。

(5)任意提出書類について

以下の書類は任意提出書類ですが、記載、成績等内容に応じ、本学の基準により加点を行います。

〔標準コース・短縮コース共通〕 ※面接点に、5点を限度として加点します。

- ・出身学部・大学院の教員による推薦状（本学所定用紙）

※推薦者には、本学所定用紙及び推薦書用封筒を渡して作成を依頼してください（要厳封）。

なお、推薦状の加点は、本学教員による受験者への面接をふまえ、一般的な論理的思考能力や問題解決能力などの能力面と使命感といった人格面を考慮して行うこととし、法律知識の有無、多寡等は考慮要素としません。

〔標準コース〕 ※面接点に加点します。

- ・以下の国家資格・試験等の合格を証明する書類を提出した場合、面接において加点の判断材料とします（加点は5点が限度）。

※法律知識の有無、多寡等を考慮要素とするものではありません。

公認会計士、税理士、司法書士、行政書士、中小企業診断士、不動産鑑定士、宅地建物取引主任者、社会保険労務士、ファイナンシャル・プランニング技能士、建築士、介護福祉士、地方公務員等

〔短縮コース〕

- ・以下の国家資格・試験等の合格もしくは成績を証明する書類を提出した場合、法律科目試験の点数に加点します。

- ①直近2年間の司法試験短答式合格を証明する書類
  - ②直近2年間の法学検定試験「2級」又は「アドバンスト（上級）」の合格証明書および成績
  - ③司法試験予備試験合格を証明する書類
  - ④国家公務員I種試験（法律区分）または総合職試験（法律区分）の合格または在職していることを証明する書類
  - ⑤司法書士資格を有していることを証明する書類
  - ⑥行政書士資格を有していることを証明する書類
  - ⑦不動産鑑定士資格を有していることを証明する書類
  - ⑧宅地建物取引主任者資格を有していることを証明する書類
- ※②以外はコピー可

※その他、TOEICの成績等参考資料の提出が可能です。

## 4. 出願時注意事項

- (1)出願書類は、黒のボールペンまたは万年筆を使用し、楷書で正確に記入してください。
- (2)受理した書類及び入学検定料は、事情の如何にかかわらず返還しません。
- (3)出願書類に虚偽の記載や変造があることが判明した場合は、合格および入学を取り消すことがあります。
- (4)本法科大学院入学時において学校教育法に定める高等専門学校、短期大学、大学、大学院に在学する者は、入学を認めません。

## 特待生入試合格者対象「特別事前教育プログラム」(参加費無料)の実施について

特待生入試は、入学前の半年の間、継続して学習を積み上げ、入学後につなげていくことを目指す「入試&教育一貫プログラム」となっています。当該入試合格者には、合格直後から入学までの間、標準コース合格者、短縮コース合格者それぞれのレベルに合わせた「特別事前教育プログラム」を用意しています。法科大学院入学後の学習を円滑に進められるよう、基本知識の定着から論文構成の方法まで丁寧な指導を行います。

特に、標準コース合格者には、今後、複数回実施する「既修者認定試験」(受験任意・無料)に合格するレベルにまで到達することを目標として設定しています。

特待生入試合格者は、「特別事前教育プログラム」の受講をしていただくことになります。

**\*特待生入試募集概要について、この後の説明は、9ページから始まります。**

# 一般入試募集概要

## 1. 募集コース及び募集人員

試験制度	試験期	募集コース	募集人員
一般入試	I 期 (適性試験第4部活用型)	標準・短縮	10名
	II 期	標準・短縮	若干名
	III 期 (適性試験第4部活用型)	標準・短縮	若干名

## 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者、または2015（平成27）年3月31日までに該当見込みの者。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 修業年限が4年以上の専修学校専門課程で、文部科学大臣が定めた基準を充足し、同大臣が別に指定するものを、同大臣が定める日以降に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (7) 本法科大学院以外の大学院に飛び入学した者で、本法科大学院が教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (8) 大学に3年以上在学し、専門科目・教養科目等の卒業に必要な110単位以上を修得した者
- (9) 22歳に達した者で、高等専門学校又は短期大学の卒業生、専修学校又は各種学校の卒業生、外国大学日本分校又は外国人学校の卒業生、外国において学校教育における15年の課程を修了した者その他その経歴からみてこれらの者に相当する学力があると認められる者で、本法科大学院が個別の入学審査の結果、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (10) 前各号に定める者のほか、本法科大学院が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※出願資格(7)～(10)に該当する場合、または障がい等により、受験・修学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願期間前に必ず法科大学院事務課に問い合わせてください。

## 受験資格審査・学力確認

出願資格(7)・(9)・(10)に該当する場合は、受験資格の有無について書類審査及び面接を行います。希望者は、事前に必ず本法科大学院事務課に問い合わせたうえで（問い合わせは受付期間前でも可）、以下の受付期間内に必要書類を郵送してください。

試験期	受付期間	受験資格審査・学力確認日 注1	結果通知 注1
I 期	平成26年7月2日(水)～7月4日(金)	平成26年7月10日(木) 11:00	平成26年7月14日(月)
II 期	平成26年9月16日(火)～9月18日(木)	平成26年9月24日(水) 11:00	平成26年9月26日(金)
III 期	平成26年11月10日(月)～11月12日(水)	平成26年11月19日(水) 11:00	平成26年11月21日(金)

\*受付時間は、平日の9時から17時（12時40分から13時40分を除く）、受付期間最終日は16時まで

注1 予定日であって、正式な日時は審査時に個別に連絡します。

- ・必要書類 以下の書類は、受付期間に簡易書留で郵送してください。  
（送付封筒に「受験資格審査書類等在中」と朱書きのこと）
    - ①履歴書（市販のもの可・3か月以内に撮影した無帽無背景の写真を貼付すること）
    - ②最終学校の卒業（見込）証明書、修了（見込）証明書、退学証明書のいずれか
    - ③最終学校の成績証明書
- ※証明書はいずれも発行から3か月以内のものに限ります。

### 3. 出願手続

(1) 出願コース選択

出願時に、志願するコースを選択します。

志願票各票の入試コード記入欄に、該当するコード、選択記号欄に選択記号を記入してください。

出願するコース	出願コース 選択記号	I期入試 コード	II期入試 コード	III期入試 コード
標準コース(3年)志願=Aコース	A	A39A	A59A	A19A
標準・短縮コース併願=Bコース	B	A39B	A59B	A19B
短縮コース(2年)志願=Cコース	C	A39C	A59C	A19C

(2) 出願書類

出願用封筒を使用し、5. 出願期間・試験日に記載の出願期間内に到着するよう、簡易書留で郵送してください。

提出書類		注意事項
必須提出書類	① 入学志願票 (A票) 〔本学所定用紙〕	18ページ記入例参照 ・3ヶ月以内に撮影した鮮明なカラー写真(無帽、正面、上三分身(肩から上)で無背景・スナップ写真不可)を貼付すること。 ・振込金確認書(C票)またはコンビニ収納証明書を所定の欄に貼付すること。
	② 写真票 (B票) 〔本学所定用紙〕	・3ヶ月以内に撮影した鮮明なカラー写真(無帽、正面、上三分身(肩から上)で無背景・スナップ写真不可)を貼付すること。
	③ 平成26年度実施「法科大学院全国統一適性試験」(第1部～3部)の成績	第1部から第3部までの成績証明カード(未開封のもの)を入学志願票(A票)の所定欄に貼付すること。
	④ I期及びIII期入試 A・Bコース出願者のみ 平成26年度実施「法科大学院全国統一適性試験」(第4部)の解答用紙(写)	・第4部(表現力を測る問題)の解答用紙(写)(未開封)を添付すること。 ・適性試験を2回受験した場合、各自で選択の上、どちらか一方の解答用紙(写)を提出すること。 ※I期・III期入試のAまたはBコース出願者以外は、提出不要。
	⑤ 出身大学・大学院の卒業・修了(見込)証明書	・複数校卒業(修了)している場合は、それぞれの大学・大学院のものを提出すること。※退学した場合は、その学校の退学証明書を提出。 ・2. 出願資格(8)の飛び入学を志願する場合は、要卒単位110単位以上を修得見込みであることが分かる書類(出願時までの成績証明書および履修登録証明書等)を提出すること。
	⑥ 出身大学・大学院の成績証明書	・発行日から3ヶ月以内のもの。 ・証明書の氏名が異なる場合には、戸籍抄本等を添付すること。
	⑦ 志望理由書 〔本学所定用紙〕	・用紙は末尾に添付。本学ホームページからダウンロードすることも可能。 ・法曹を志望する理由を1000字から2000字で記入すること。 ・社会人・非法学部優遇措置を希望する場合は12ページ参照。
	⑧ 受験票送付用封筒(長3)	・郵便番号、住所、氏名を記入し、362円分の切手を貼付すること。
任意提出書類 (8ページ参照)	推薦書〔本学所定用紙〕	・用紙は末尾に添付されているものを使用すること。 ・出身学部・大学院の指導教員が記入したもの。 ・推薦者の自筆署名・捺印があり、本学指定の推薦書用封筒に厳封してあるものに限る。
	その他	・各種資格取得証明書 ・法律科目試験加点のための資料等
該当する場合のみ	外国人登録原票記載事項証明書 または住民票記載事項証明書	外国籍の場合は必ず提出すること。 ・国籍、在留資格、在留期間等が記載された、発行日から3か月以内のもの。

(3) 志望理由書の提出延期について

出願書類⑦「志望理由書」については、提出を延期することができます。志望理由書の提出を延期する場合には、出願書類①「入学志願票」の所定欄に○をつけて出願してください。なお、志望理由書は以下の期日までに到着するよう簡易書留で郵送してください。

〔Ⅰ期〕：平成26年8月4日(月)

〔Ⅱ期〕：平成26年10月20日(月)

〔Ⅲ期〕：平成26年12月8日(月)

※締切日16時までに志望理由書の提出がない場合には、選抜試験を受験できません。

#### (4) 任意提出書類について

以下の書類は任意提出書類ですが、記載、成績等内容に応じ、本学の基準により加点を行います。

〔標準コース・短縮コース〕 ※面接点に、5点を限度として加点します。

・出身学部・大学院の教員による推薦状（本学所定用紙）

※推薦者には、本学所定用紙及び推薦書用封筒を渡して作成を依頼してください（要厳封）。

なお、推薦状の加点は、本学教員による受験者への面接をふまえ、一般的な論理的思考能力や問題解決能力などの能力面と使命感といった人格面を考慮して行うこととし、法律知識の有無、多寡等は考慮要素としません。

※社会人・非法学部優遇措置（12ページ）とは併用できません。

〔標準コース〕 ※面接点に加点します。

・以下の国家資格・試験等の合格を証明する書類を提出した場合、社会人・非法学部優遇制度（12ページ）の適用において加点の判断材料とします（実際の加点の有無は、面接において判断します。加点は10点が限度）。なお、受験者が社会人・非法学部優遇制度の対象者でない場合も、面接において加点の判断材料とします（加点は5点が限度）。

※法律知識の有無、多寡等を考慮要素とするものではありません。

公認会計士、税理士、司法書士、行政書士、中小企業診断士、不動産鑑定士、宅地建物取引主任者、社会保険労務士、ファイナンシャル・プランニング技能士、建築士、介護福祉士、地方公務員等
--

〔短縮コース〕

・以下の国家資格・試験等の合格もしくは成績を証明する書類を提出した場合、法律科目試験の点数に加点します。

①直近2年間の司法試験短答式合格を証明する書類

②平成26年度法学既修者試験成績証明書

※Ⅰ期入試出願締め切り時点で、成績証明書が届いていない場合は、「法学既修者試験成績提供許諾書」（大学ホームページからダウンロードの上、作成してください）を提出してください。

③直近2年間の法学検定試験「2級」又は「アドバンスト（上級）」の合格証明書および成績

④司法試験予備試験合格を証明する書類

⑤国家公務員Ⅰ種試験（法律区分）または総合職試験（法律区分）の合格または在職していることを証明する書類

⑥司法書士資格を有していることを証明する書類

⑦行政書士資格を有していることを証明する書類

⑧不動産鑑定士資格を有していることを証明する書類

⑨宅地建物取引主任者資格を有していることを証明する書類

※②以外はコピー可

※その他、TOEICの成績等参考資料の提出が可能です。

## 4. 出願時注意事項

(1) 出願書類は、黒のボールペンまたは万年筆を使用し、楷書で正確に記入してください。

(2) 受理した書類及び入学検定料は、事情の如何にかかわらず返還しません。

(3) 出願書類に虚偽の記載や変造があることが判明した場合は、合格および入学を取り消すことがあります。

(4) 本法科大学院入学時において学校教育法に定める高等専門学校、短期大学、大学、大学院に在学する者は、入学を認めません。

# 特待生入試・一般入試共通

## 5. 出願期間・試験日

### 特待生入試及び一般Ⅱ期

		特待生	Ⅱ期
出願期間		平成26年6月27日(金)～ 7月4日(金) 午後4時必着	平成26年10月10日(金)～ 10月17日(金) 午後4時必着
選抜 試験	標準コース	小論文・面接	平成26年7月12日(土)
	短縮コース	法律科目試験・面接	平成26年7月13日(日)
合格発表		平成26年7月24日(木) 午後3時	平成26年10月25日(土)
入学手続期間		平成26年7月25日(金)～ 8月6日(水)	平成26年10月26日(日)
			平成26年10月31日(金) 午後3時
			平成26年11月4日(火)～ 11月13日(木)
			平成26年12月5日(金)～ 12月12日(金)

※標準コースと短縮コースを併願する場合、面接試験は標準コースの日程で受験します。

### 一般Ⅰ期及びⅢ期（適性試験第4部活用型）

		Ⅰ期	Ⅲ期
出願期間		平成26年7月25日(金)～ 8月1日(金) 午後4時必着	平成26年11月28日(金)～ 12月5日(金) 午後4時必着
選抜 試験	標準コース	小論文・面接	平成26年8月10日(日)
	短縮コース	法律科目試験・面接	平成26年12月13日(土)
合格発表		平成26年8月22日(金) 午後3時	平成26年12月19日(金) 午後3時
入学手続期間		第1次：平成26年9月16日(火)～ 9月29日(月)	平成27年1月9日(金)～ 1月16日(金)
		第2次：平成26年12月5日(金)～ 12月12日(金)	

## 6. 入学検定料

	試験時期	入学検定料
	特待生入試	12,000円
一般 入 試	Ⅰ期（適性試験第4部活用型）	8,000円
	Ⅱ期	12,000円
	Ⅲ期（適性試験第4部活用型）	8,000円

※本学の学部、大学院出身者（卒業見込み者を含む）の入学検定料は無料です（振込の必要はありません）。

### ●入学検定料の振込方法

#### ①金融機関を利用する方法

指定様式 写真票（B票）～振込依頼書（E票）

を使用し、入試コード、氏名等必要事項を記入し、振込依頼書から振込先の銀行を選び金融機関窓口から振り込んでください。ATMは利用しないでください。窓口で振込依頼書（E票）以外のものを受領し、収納印が押印されていることを確認してください。本人控は大切に保管してください。

#### ②コンビニエンスストアを利用する方法（17ページ「入学検定料支払方法のご案内」参照）

「入学検定料支払方法のご案内」に従ってコンビニエンスストアで検定料を支払ってください。その際に受け取った、「取扱明細書兼領収書」の収納証明書部分を切り取り、入学志願票（A票）の所定の位置に貼付してください。

## 7. 選抜試験

(1)試験科目・配点・時間割

**【対象：標準コース志願者】 Aコース・Bコース**

**【特待生入試及びⅡ期入試】**

試験科目	配点	試験時間
①適性試験成績（第1～3部）	30点	—
②小論文	40点	10：00～12：00
③面接 ※Ⅱ期入試は社会人・非法学部優遇措置による加点あり	30点	小論文終了後、昼食休憩をはさみ随時。
計100点		

**【Ⅰ期及びⅢ期入試（適性試験第4部活用型）】**

試験科目	配点	試験時間
①適性試験成績（第1～3部）	60点	—
②適性試験成績（第4部）	20点	—
③面接 ※社会人・非法学部優遇措置による加点あり	20点	13：00開始 ※個別の実施時間は受験票に記載して通知する。
計100点		

**【対象：短縮コース志願者】 Bコース・Cコース**

**【特待生・Ⅰ期～Ⅲ期入試共通】**

試験科目	配点	試験時間
④法律科目試験	(1)刑法（刑罰論を除く）	9：30～10：30（60分）
	(2)刑事訴訟法	10：45～11：30（45分）
	(3)民法	12：30～13：30（60分）
	(4)民事訴訟法（民事執行・保全法を除く）	13：45～14：30（45分）
	(5)憲法	14：45～15：45（60分）
計400点		
⑤適性試験成績（第1～3部）	〔特待生・Ⅱ期〕30点 〔Ⅰ期・Ⅲ期〕60点	—
⑥面接 ※Ⅰ～Ⅲ期は社会人・非法学部優遇措置による加点あり	〔特待生・Ⅱ期〕30点 〔Ⅰ期・Ⅲ期〕20点	法律科目試験終了後随時

〔標準・短縮コース併願（Bコース）受験者へ〕

※〔特待生〕または〔Ⅱ期〕入試を受験する場合は、小論文試験と法律科目試験両方の受験が必要です。

※面接試験については、〔特待生〕及び〔Ⅱ期〕は小論文試験終了後、〔Ⅰ期〕及び〔Ⅲ期〕は、法律科目試験終了後に実施します。

(2) 試験科目内容

**【対象：標準コース志願者】 Aコース・Bコース**

- ① 適性試験成績（第1～3部）  
「法科大学院全国統一適性試験」(第1～3部)の成績によります。
- ② **【特待生・Ⅱ期入試】** 小論文試験  
法律知識の多寡を問うものではありません。  
資料持ち込み、披見は一切不可とします。
- 【Ⅰ期・Ⅲ期入試（適性試験第4部活用型）】** 適性試験（第4部）  
「法科大学院全国統一適性試験」(第4部)を本学基準により採点します。

- ③ 面接  
教員が事前に提出された「志望理由書」を読み込んだ上で面接を行い、「志望理由書」に書かれた内容について、個別に確認するものです。法曹を志望する理由、基本姿勢、考え方、論理性などについて判定します。  
なお、Ⅰ～Ⅲ期入試では、社会人・非法学部優遇措置の対象者で、優遇が認められた場合には加点がなされます。優遇措置については、「社会人・非法学部優遇措置」(12ページ)を参照してください。その他の加点事由については、3. 出願手続(特待生入試4ページ、一般入試7ページ)を参照してください。

**【対象：短縮コース志願者】 Bコース・Cコース**

- ④ 法律科目試験  
以下5科目の論述式試験です。本法科大学院標準コース1年次で履修する法律基本科目を修得した者と同等以上の学力があるかを判定します。
- (1) 憲法  
(2) 民法  
(3) 民事訴訟法(民事執行・保全法を除く)  
(4) 刑法(刑罰論を除く)  
(5) 刑事訴訟法
- ⑤ 適性試験成績（第1～3部）  
「法科大学院全国統一適性試験」(第1～3部)の成績によります。
- ⑥ 面接  
教員が事前に提出された「志望理由書」を読み込んだ上で面接を行い、「志望理由書」に書かれた内容について、個別に確認するものです。法曹を志望する理由、基本姿勢、考え方、論理性などについて判定します。  
なお、Ⅰ～Ⅲ期入試では、社会人・非法学部優遇措置の対象者で、優遇が認められた場合には加点がなされます。優遇措置については、12ページ「社会人・非法学部優遇措置」を参照してください。その他の加点事由については、3. 出願手続(特待生入試4ページ、一般入試7ページ)を参照してください。

(3) 合格判定基準

- ・標準コース合格判定：小論文（〔一般Ⅰ期〕〔一般Ⅲ期〕は、適性試験第4部）、適性試験成績（第1～3部）、面接の点数を、配点割合に基づき総合的に評価し、標準コース合格とします。
  - ・短縮コース合格判定：適性試験成績（第1～3部）、面接の点数を配点割合に基づき総合的に評価し、さらに法律科目試験において各科目につきおおむね50%、かつ、総合点につきおおむね60%の水準を充たす者を短縮コース合格とします。
- ただし、標準コース、短縮コースとも、「適性試験（第1～3部）」の成績が、おおむね下位15%未満の者は、その点を理由として不合格となる場合があります。

**【「面接」試験の成績について】**

「面接」試験は、本法科大学院が法曹としての資質の中で最も重要と考えているコミュニケーション能力をはかる試験です。本法科大学院では特にリーガルクリニックに力を入れていることもあり、他者とコミュニケーションをとることができる基本的能力が備わっているかどうかを入学者選抜の際の重要なポイントととらえています。よって、面接の成績が著しく不良である場合は、総合点による合否の判定対象としないことがあります。

## 社会人・非法学部優遇措置

社会人経験を有する場合、もしくは非法学部出身である場合において、以下の条件を充たす時は、面接試験時に、10点を上限として加点されます。優遇を希望する場合は志望理由書と添付書類を併せて提出してください。  
※特待生入試は、社会人・非法学部ともに優遇の対象にはなりません。

	社会人優遇措置	非法学部優遇措置
優遇対象者	出願時まで連続して3年以上の社会人経験を有する者 ※ここでいう「社会人」とは、被雇用者（常勤・非常勤を問わない。NPO・NGO等の勤務も含む）のみならず、自営業、専業主婦・主夫等を含む。ただし、在学中のアルバイトについては、原則として社会人には含まない。「出願時まで連続して3年以上」であれば勤務先が変わっていてもよい。	次の①または②に該当する者 ①法学部、または法学を主要な専門科目とする学部以外の出身者（文学部、商学部など） ②法学部、または法学を主要な専門科目とする学部の出身者で、専門科目の要卒単位の60%以上を実定法以外の分野から修得した者（法学部政治学科など）
優遇認定方法	出願書類のうち「志望理由書」において、社会人経験と法曹を志望する理由を関連づけて1000字以上3000字以内で論じること。社会人経験と法曹を志望する理由が明確に関連づけて論じられていると認められた場合に限り、面接時に加点する。	出願書類のうち「志望理由書」において、その学問で得た知見と法曹を志望する理由を関連づけて1000字以上3000字以内で論じること。学問で得た知見と法曹を志望する理由が明確に関連づけて論じられていると認められた場合に限り、面接時に加点する。
添付書類	社会人経験を証明する書類（雇用保険、年金関係の資格取得年月日、資格喪失年月日等が記載されており、在職年数が確認できるものなど。写し可）。	出身学部のカリキュラム表（専門科目の単位数がわかる書類）。

※社会人優遇、非法学部優遇の併用も可能ですが、優遇加点の上限は10点です。  
※「飛び入学」を希望する者は、非法学部優遇対象②の条件では優遇措置の対象とはなりません。

## 法律科目試験一部免除制度〔当該年度複数回入試受験者〕

平成27年度〔特待生〕〔一般Ⅰ期〕〔一般Ⅱ期〕入試において、B・Cコース（標準・短縮コース併願／短縮コース専願）を受験したが、短縮コース不合格となった者のうち、法律科目試験の一部が合格基準に達している者については、次回以降入試において当該試験科目を免除します（当該年度内に限る）。

免除対象者は、入試合否発表の際に通知します。

免除する試験科目：憲法・民法・民事訴訟法・刑法・刑事訴訟法のうち、おおむね60%の基準に達している科目。

※Bコース受験者で、標準コースに合格している場合

- ・標準コースとして入学手続きを完了している場合、「既修者認定試験」を受験する際に、一部科目を免除します。
- ・入学手続きを行わず、再度次回以降入試を受験する場合、「法律科目試験」の一部科目を免除します。

## 8. 試験会場

國學院大學渋谷キャンパス

※試験教室は受験票に記載して通知します。

## 9. 受験上の注意

- 「法科大学院全国統一適性試験」受験票（本法科大学院に成績を提出した回のもの）と、本学受験票を必ず持参してください。適性試験受験票を紛失した場合は、試験実施団体に再発行を願い出てください。
- 試験当日は試験開始20分前までに試験場に入り、係員の指示に従ってください。なお、試験開始後、小論文試験の遅刻については45分まで、法律科目試験の遅刻については30分までは入場を許可します。
- 答案は、黒インクのボールペン又は万年筆（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）で記載することとし、これ以外で記載した場合には無効となります。
- 法律科目試験については、六法を貸与します。
- 試験時間中の携帯電話、PHS等の使用（時計機能としての使用を含む）は禁止しています。当日は監督者の指示に従ってください。
- 各試験日も、各自で昼食を用意してください。

## 10. 合格発表

- (1) 合格発表は、「5. 出願期間・試験日（9ページ）」に記載した日時に、本法科大学院ホームページ及び郵送で行い、掲示による発表は行いません。
- (2) 選抜結果を発表するホームページアドレスは、<http://www.kokugakuin.ac.jp/lawschool/>です。
- (3) 可否についての問い合わせには、一切応じません。
- (4) 合格発表日に、入学志願票に記入された住所あてに選抜結果通知を発送します。

## 11. 繰上げ合格候補者について

- (1) 合格発表と同時に、繰上げ合格候補者を発表することがあります。
- (2) 繰上げ合格候補者は、入学が許可されるとは限りません。
- (3) 繰上げ合格候補者に対しては、本法科大学院からその旨通知します。
- (4) 入学を許可する場合には、本法科大学院ホームページで繰上げ合格者の受験番号を発表します。発表日については、繰上げ合格候補者である旨を通知する文書でお知らせします。

## 12. 標準コース合格者の既修者認定試験について

平成27年度〔特待生〕〔一般Ⅰ期〕〔一般Ⅱ期〕入試のいずれかにおいて、標準コース合格者で入学手続を完了した者を対象に、既修者認定試験を行います（受験料不要）。この既修者認定試験に合格した場合には、短縮コースに入学することができます。志願方法については、標準コース合格者に送付する案内を参照してください。既修者認定試験は複数回受験が可能です。

受験資格：平成27年度〔特待生〕〔一般Ⅰ期〕〔一般Ⅱ期〕入試標準コース合格者で、入学手続を完了した者  
 試験内容：平成27年度入試時に「法律科目試験」と同一内容で、同時に実施

## 13. 入学手続

合格者は、入学手続期間中に手続をしてください。手続方法の詳細については、合格通知とともに送付する「入学手続要項」で確認してください。なお、一度納付した「入学金」については、事情の如何にかかわらず、返還しません。  
 ※入学時納付金については、「14. 入学時納付金」を参照してください。

入学手続期間	〔特待生〕	平成26年7月25日(金)～8月6日(水)
	〔一般Ⅰ期〕	第1次：平成26年9月16日(火)～9月29日(月) 第2次：平成26年12月5日(金)～12月12日(金)
	〔一般Ⅱ期〕	第1次：平成26年11月4日(火)～11月13日(木) 第2次：平成26年12月5日(金)～12月12日(金)
	〔一般Ⅲ期〕	平成27年1月9日(金)～1月16日(金)

## 14. 入学時納付金

平成26年度学費等納付金額（参考）

（単位：円）

費目		全納		分納			
		年額		入学手続時		9月	
		本学出身者	他大学出身者	本学出身者	他大学出身者	本学出身者	他大学出身者
学費	入学金	50,000	250,000	50,000	250,000		
	授業料	950,000	950,000	475,000	475,000	475,000	475,000
	施設設備費	50,000	200,000	25,000	100,000	25,000	100,000
合計		1,050,000	1,400,000	550,000	825,000	500,000	575,000

## 15. 各種奨学金制度

### (1) 國學院大學法科大学院奨学金（一般入試入学者のみ対象）

この奨学金は、「國學院大學法科大学院奨学制度規程」の定めるところにより、入学試験の成績優秀者及び各年度の成績優秀者に、各学年6名以内を対象として、標準コース、短縮コースとも次のとおり支給するものです。

- 第1位 95万円（年間授業料相当額）
- 第2位 63万円（年間授業料の3分の2相当額）
- 第3位以下 47万5千円（年間授業料の2分の1相当額）

入学試験の成績優秀者には、合格通知とともに「國學院大學法科大学院奨学金受給候補者」として通知します。

### (2) 國學院大學適性試験特別奨学金（一般入試入学者のみ対象）

この奨学金は、「國學院大學法科大学院適性試験特別奨学制度規程」の定めるところにより、入学者のうち、適性試験管理委員会が実施する法科大学院全国統一適性試験の成績優秀者に、次のとおり支給するものです。

- 適性試験成績上位20%以上 95万円（年間授業料相当額）
- 適性試験成績上位35%以上20%未満 63万円（年間授業料の3分の2相当額）
- 適性試験成績上位50%以上35%未満 47万5千円（年間授業料の2分の1相当額）

※國學院大學法科大学院奨学金との併用受給はできません。

※対象となる点数は、適性試験管理委員会事務局より公表された、適性試験の「スコア（総合得点）の度数分布」に基づき、7月下旬に大学ホームページで発表します。

※2年次以降は、学年成績上位40%以内などの所定の要件を満たす場合には、支給が継続されます。

### (3) 日本学生支援機構奨学金（法科大学院対象）

この奨学金は、優れた学生で経済的な理由により修学困難な学生に対して、学費等の貸与を行うことにより、国家および社会に有為な人材の育成に資するとともに、教育の機会均等に寄与することを目的としています。

奨学金の種別、貸与月額は次のとおりです。（平成26年度実績。今後変更となる場合があります。）

- ・第一種奨学金（無利子）…貸与月額5万円・8万8千円から選択
- ・第二種奨学金（有利子）…貸与月額5万円・8万円・10万円・13万円・15万円から選択  
15万円を選択した場合に限り、4万円（計19万円）または7万円（計22万円）の増額貸与を受けることができます。
- ・入学時特別増額貸与（有利子）…入学年の初回交付月に限り、貸与月額に増額して貸与を受けることができます（10、20、30、40、50万円から選択）。

※詳細は、法科大学院事務課に問い合わせてください。

### (4) 提携教育ローン

本学では、入学予定者に対し、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行と提携して在学期間中の元金据え置きや金利優遇された法科大学院教育ローンを用意しています。この法科大学院教育ローンの申込については、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行（旧UFJ銀行本支店のみの取扱いとなります）に直接問い合わせてください。

なお、この契約をした場合は、必ず法科大学院事務課に連絡をしてください。

### (5) 法科大学院教育ローン利子補給制度

この制度は、本学「法科大学院教育ローン利子補給制度規程」の定めるところにより、本学が提携する金融機関より教育ローン（上記(4)提携教育ローン）を借り受けた本法科大学院生に対し、在学期間中に限り、返済に係る利子分を支給する制度です。

※詳細は本法科大学院事務課に問い合わせてください。

## 16. 入学辞退等による学費等の返還について

入学手続完了後、やむを得ない事由により入学を辞退する場合は、平成27年3月末日までに本法科大学院事務課まで申し出てください。平成27年3月末日までに所定の手続をとることで、入学金以外の授業料・施設設備費を返還します。

## 17. 平成27年度入学試験成績開示について

平成27年度入学試験不合格者のうち、受験生本人から開示請求があった場合に限り、入学試験成績を開示します。

開示内容：①総合点順位

②総合点

③配点割合換算後の各試験科目点数

〔特待生及び一般Ⅱ期〕小論文・適性試験（第1～3部）・面接

〔一般Ⅰ期及び一般Ⅲ期（適性試験第4部活用型）〕適性試験（第1～3部）・適性試験（第4部）・面接

④法律科目試験点数（素点）

請求期間：平成27年4月1日(水)～4月24日(金)当日消印有効

請求方法：以下の書類を揃え、請求期間内に本法科大学院事務課に持参もしくは郵送により開示請求してください。

成績開示請求書到着後、30日以内に簡易書留郵便により通知します。

①開示を希望する入学試験の受験票

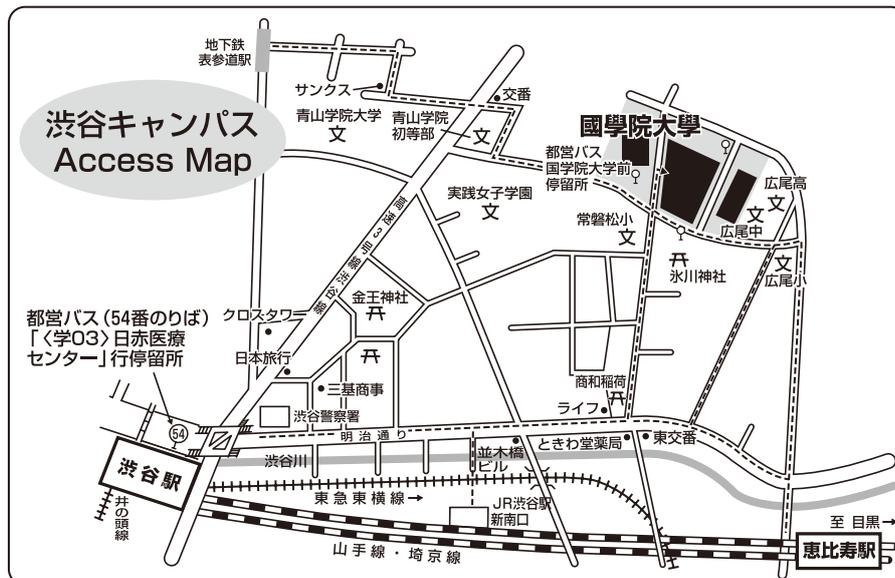
②入学試験成績開示請求書（本学指定用紙）

③返信用封筒（長形3号・本人氏名・住所・郵便番号を明記し、392円分の切手を貼付したもの）

※受験票を紛失した場合は、本人であることを確認できる身分証明書の写し（免許証・健康保険証等）を同封してください。

※成績開示請求書は、本学ホームページからダウンロードして使用してください。

## 18. 地図



### 渋谷駅からのアクセス

◇JR・地下鉄・東急各線渋谷駅から徒歩約13分。

都営バス（学03 日赤医療センター行）「国学院大学前」または「東4丁目」下車。

◇JR渋谷駅新南口から徒歩約10分。

◇表参道駅（半蔵門線・銀座線・千代田線）から徒歩約15分。

◇恵比寿駅（JR線・日比谷線）から徒歩約15分。

※本学では、自動車・オートバイ・自転車等での通学は認めていません。駐輪場等もありません。

## 個人情報の取扱いについて

國學院大學では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。入学志願にあたり提出された書類に記載された個人情報は、入学資格審査、入試合否判定、不足書類等があった場合等の緊急連絡、受験票の発送、合格通知の発送、学費等納付書作成等に使用します。(上記の利用目的の範囲を超えて使用したり、本人の同意を得ずに第三者に提供したりすることはありません。)

## 募集要項アンケート

このアンケートは入学試験の合否には一切関係ありません。回答はすべて入学志願票【A票】の回答欄に記入してください。

ご協力をお願いします。

項目 a 本学法科大学院の受験を決める際に何を参考にしましたか。(3つまで選択可)

01. 法律関係雑誌
02. 各種法科大学院ガイド
03. ロースクールガイド (適性試験会場配布)
04. 進学相談会
05. 本学HP
06. 本学法科大学院ガイドブック
07. インターネット
08. 新聞
09. その他

項目 b 本学法科大学院の受験を決めた時期はいつ頃ですか。

01. 平成26年4月
02. 平成26年5月
03. 平成26年6月
04. 平成26年7月
05. 平成26年8月
06. 平成26年9月
07. 平成26年10月
08. 平成26年11月
09. 平成26年12月
10. それ以外

項目 c 本学法科大学院の受験を決めた理由は何ですか。(3つまで選択可)

01. 教育内容
02. 教員
03. リーガルクリニック
04. 施設・設備
05. 大学の規模
06. 立地
07. 奨学金
08. 授業料
09. 入試制度
10. 入試難易度
11. 入試日程
12. その他

項目 d 法科大学院の情報を得るためによく閲覧するWEBサイトは何ですか。(3つまで選択可)

01. 大学HP
02. ケイコとマナブ.net
03. asahi.com
04. ミガク.to
05. 法科大学院ガイド
06. YOMIURI ON-LINE
07. 大学・大学院net
08. 予備校HP
09. その他

項目 e 本学法科大学院の開催する説明会等に参加したことがありますか。(3つまで選択可)

01. 特待生入試説明会
02. 入試説明会(7月)
03. 入試説明会(9月)
04. 授業見学会
04. 講演会
05. その他(模擬裁判等)

項目 f 各地で実施されている合同進学相談会等に参加し、本学の相談ブースで相談したことがありますか。

01. 参加し相談した
02. 参加したが相談はしなかった
03. 参加しなかった

項目 g 本学法科大学院ガイドブックおよび募集要項はどこで入手しましたか。

01. 本学ホームページからの資料請求
02. 法科大学院情報サイトからの資料請求
03. 資料請求ハガキ
04. 朝日新聞社主催進学ガイダンス(秋葉原ダイビル)
05. 読売新聞社主催進学説明会(ベルサール秋葉原)
06. 予備校の進学相談会
07. 本学開催進学相談会
09. それ以外

ご協力ありがとうございました

# 入学検定料支払方法のご案内

下記のコンビニ端末にてお支払いください

## 1 お申込み

**セブン-イレブン マルチコピー機**  
<http://www.sej.co.jp>  
 最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。  
 TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育  
↓  
入学検定料等支払

**LAWSON Loppi** **MINI STOP Loppi**  
<http://www.lawson.co.jp> <http://www.ministop.co.jp>  
 最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。  
 TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



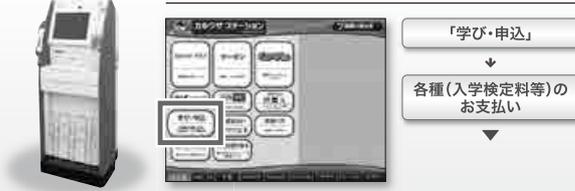
「各種申込(学び)」を含むボタン  
↓  
学び・教育・各種検定試験  
↓  
大学・短大・専門、小・中・高校等お支払い

あなたと、コンビニに、  
**FamilyMart Famiポート**  
<http://www.family.co.jp>  
 最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。  
 TOP画面の「**申込・請求(学び・教育)**」よりお申込みください。



申込・請求  
↓  
学び・教育  
↓  
各種(入学検定料等)お支払いサービス

**カルワザステーション**  
<http://www.circleksunkus.jp>  
 最寄りの「サークルK・サンクス」にある「カルワザステーション」へ。  
 TOP画面の「**学び・申込**」よりお申込みください。



「学び・申込」  
↓  
各種(入学検定料等)のお支払い

国学院大学法科大学院 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票/申込券/受付票**」を発券ください。

\*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

## 2 お支払い

コンビニのレジでお支払いください。

- 端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi,Famiポート)または「受付票」(カルワザステーション)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**
- お支払い後は「取扱明細書」(マルチコピー機、カルワザステーション)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi,Famiポート)を受け取ってください。

\*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。  
 \*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。  
 \*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

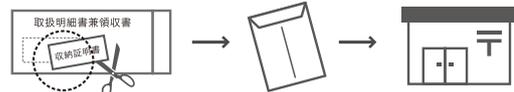
払込手数料	入学検定料が5万円未満	432円
	入学検定料が5万円以上	648円



## 3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「**収納証明書**」部分を切り取り、  
**入学志願票の所定欄に貼ってください。**

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



### ■コンビニでの支払期間

入試方式	支払期間・郵送出願期間(必着)
特待生入試	2014年 6月27日(金) ~ 2014年 7月 4日(金)
一般入試Ⅰ期(適性試験第4部活用型) / 社会人特別入試Ⅰ期	2014年 7月25日(金) ~ 2014年 8月 1日(金)
一般入試Ⅱ期 / 社会人特別入試Ⅱ期	2014年10月10日(金) ~ 2014年10月17日(金)
一般入試Ⅲ期(適性試験第4部活用型) / 社会人特別入試Ⅲ期	2014年11月28日(金) ~ 2014年12月 5日(金)

【入試に関するお問合わせ先】

国学院大学 法科大学院事務課 TEL 03-5466-0492

【操作などのお問合わせ先】

学び・教育サポートセンター <http://e-apply.jp/>

\*コンビニ店頭ではお応えできません。

特待生・一般共通

表側

裏側

平成27年度  
國學院大學大学院  
法務研究科法務職専攻  
入学志願票

【A票】※

※該当欄に○を打する

特待生入試	A (未修)	B (併願)	C (既修)
入試時期及び コースの選択	Ⅰ期入試(適性試験第4部活用型)	○	
	Ⅱ期入試		
	Ⅲ期入試(適性試験第4部活用型)		

フリガナ フカギ ミドリ

氏名 若木 緑

性別  男  女

生年 1979年10月15日 年齢 満 34才

月 日

郵便 151-0011

番号

写真  
(縦4cm×横3cm)

住所 東京、 東京都 渋谷区 東 4-10-28

市 (区) 郡

電話 03-5466-0492 携帯 080-0123-0000

番号

連絡のたれる 1soffice

メールアドレス @kokugakuin.ac.jp

※どちらかに○を打する

志願理由書  
提出延期について

する  しない

※どちらかに○を打する

推薦書の提出  
について

する  しない

「法科大学院全国統一適性試験」の成績

2014年実施適性試験成績証明カード  
貼付欄

※特待生入試志願者は、受験票のコピーを添付すること(貼付不要)

振込金確認書【C票】またはコンビニ収納証明書貼付欄

学 歴			
1998年03月	私立000学院	高等学校卒業	
1998年04月	私立000大学経済学部経営学科	入学	
2002年03月	同	卒業	
職 歴			
2002年04月	(株)00入社営業部西区属		
~05年03月			
2005年04月	△△法律事務所アルバイト		
~06年03月			
2006年04月	△△法律事務所所法律事務	現在に至る	
~			
資 格			
2007年	宅建建物取引主任者試験合格		
社会活動等			
	特 に 特 別		

アンケート回答欄 募集要項10ページ回答は任意です。念頭に任一切断係ありません

項目a	03	06	項目b	04	項目c	03	04
項目d	01	07	項目e	01	03	項目f	01
			項目g	01			

# B票～E票記入例

## 写真票（B票）～振込依頼書（E票）

銀行を利用する場合

必要事項を記入し、銀行で入学検定料を納入後、B票及びC票を出願書類と併せて郵送してください。

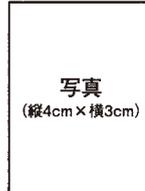
コンビニ収納を利用する場合

必要事項を記入し、B票のみ郵送してください。

### 【B票】

#### 平成27年度 國學院大學大学院法務研究科 写真票

入試コード	受験番号	
A39A	※	
コース 選択記号	フリガナ	性別
A	ワカキ ミドリ	男
氏名	若木 緑	



(平成27年度検定料)



### 振込金確認書

大学提出用

### 【C票】

依頼日	平成26年7月25日	
先方銀行	みずほ銀行 渋谷支店	金額 ¥ 80,000-
受取人	國學院大學	
入試コード	受験者氏名	
A39A	若木 緑	

(平成27年度検定料)



検定料納入後、志願票の所定の欄に貼付してください。

### 振込金兼手数料受取書

本人控

### 【D票】

依頼日	平成26年7月25日	
先方銀行	みずほ銀行 渋谷支店	金額 ¥ 80,000-
受取人	國學院大學	
入試コード	受験者氏名	
A39A	若木 緑	

(平成27年度検定料)



上記のとおり領収しました。 國學院大學

### 電信扱

### 振込依頼書(取扱店保存)

(平成27年度検定料)

### 【E票】

依頼日	平成26年7月25日	振込指定	電信(普通)扱	科目	
先方銀行	みずほ銀行 渋谷中央支店	普通No.1391131	金額	¥ 80,000-	
入金種目	三菱東京UFJ銀行 渋谷中央支店	普通No.0128169	内		
口座番号	三井住友銀行 渋谷支店	普通No.8195674	外		
振込手数料	りそな銀行 渋谷支店	普通No.0093868	手数料		
受取人	普通預金		振手帳		
口座名	コクガクインダイガク				
入試コード	受験者氏名(カタカナ)				
A39A	ワカキ ミドリ				
漢字氏名	若木 緑				
住所	〒151-0011 東京都渋谷区東4-10-28				

取扱銀行へのお願い  
 1. B～E票(4箇所)に正確に押印のうえ、B～D票を依頼人に返却してください。  
 2. 手数料は指定銀行の場合、とりよとの店扱い、その他の銀行は本人払いです。  
 3. 入試コード・受験者氏名の順番で発行してください。  
 4. 出願受付期間  
 特待生:平成26年6月27日(金)～7月4日(金)  
 I期:平成26年7月25日(金)～8月1日(金)  
 II期:平成26年10月10日(金)～10月17日(金)  
 III期:平成26年11月28日(金)～12月5日(金)

#### 【入学検定料】

志願する期別をマークし、該当する金額を1000円単位で記入してください。

特待生	12,000円
I期	8,000円
II期	12,000円
III期	8,000円

(平成27年度検定料)



## 記入上の注意

- ・【A票】に振込金確認書【C票】(銀行収納印があるもの)またはコンビニ収納証明書を貼付してください。
- ・写真は3ヶ月以内に撮影した鮮明なカラー写真(無帽、正面、上三分身(肩から上)で無背景・スナップ写真不可)を貼付してください。

### 【入試コード】

出願するコース	出願コース 選択記号	特待生入試 コード	I期入試 コード	II期入試 コード	III期入試 コード
標準コース(3年)志願=Aコース	A	S39A	A39A	A59A	A19A
標準・短縮コース併願=Bコース	B	S39B	A39B	A59B	A19B
短縮コース(2年)志願=Cコース	C	S39C	A39C	A59C	A19C







写真票 (B票)～振込依頼書 (E票)

銀行を利用する場合

必要事項を記入し、銀行で入学検定料を納入後、B票及びC票を出願書類と併せて郵送してください。

コンビニ収納を利用する場合

必要事項を記入し、B票のみ郵送してください。

【B票】

平成27年度 國學院大學大学院法務研究科 写真票

入試コード	受験番号		
	※		
コース 選択記号	フリガナ		男・女
氏名			

写真  
(縦4cm×横3cm)

《平成27年度検定料》



振込金確認書

大学提出用

【C票】

依頼日	平成 年 月 日				
先方銀行	銀行	支店	金額	¥	
受取人	コクガクインダイガク 國學院大學				
入試コード	受験者氏名				

《平成27年度検定料》



検定料納入後、志願票の所定の欄に貼付してください。

振込金兼手数料受取書

本人控

【D票】

依頼日	平成 年 月 日				
先方銀行	銀行	支店	金額	¥	
受取人	コクガクインダイガク 國學院大學				
入試コード	受験者氏名				

《平成27年度検定料》



上記のとおり領収しました。 國學院大學

電信扱

振込依頼書(取扱店保存)

《平成27年度検定料》

【E票】

科目					
依頼日	平成 年 月 日	振込指定	電信(普通)扱	手数料	
先方銀行	みずほ銀行 渋谷中央支店 普通No1391131	金額	¥		
預金種目	三菱東京UFJ銀行 渋谷中央支店 普通No0128169	内訳	金額		
口座番号	三井住友銀行 渋谷支店 普通No8195674		当手枚		
志願者が○をつけたい	りそな銀行 渋谷支店 普通No0093868	他手枚			
受取人	預金種目	普通預金			
	口座名	コクガクインダイガク			
		國學院大學			
入試コード	受験者氏名(カタカナ)				
受験者	漢字氏名				
	住所				

取扱銀行へのお願い

- B～E票(4箇所)に正確に押印のうえ、B～D票を依頼人に返却してください。
- 手数料は指定銀行の場合、とりまとめ店扱い、その他の銀行は本人払いです。
- 入試コード・受験者氏名の順番で打電してください。
- 出願受付期間  
特待生:平成26年6月27日(金)～7月4日(金)  
I期:平成26年7月25日(金)～8月1日(金)  
II期:平成26年10月10日(金)～10月17日(金)  
III期:平成26年11月28日(金)～12月5日(金)

【入学検定料】

志願する制度をマークし、該当する金額を上記金額欄に記入してください。

○	特待生	12,000円
○	I期	8,000円
○	II期	12,000円
○	III期	8,000円

《平成27年度検定料》



切  
り  
ト  
リ  
線



## 特待生入試出願者用「成績報告書」

\*特待生入試受験者で、「出願資格 ア」により出願する場合は、下記に従って、学業成績の平均値を算出してください。

\*空欄は全て記入してください。

受験生氏名	
-------	--

学業成績	①換算点	②修得単位数	③換算点×修得単位数 (①×②)
A (100～80点)	3		
B (79～70点)	2		
C (69～60点)	1		
A・B・Cの合計		④	⑤

学業成績の平均 (⑤÷④)	⑥
---------------	---

※卒業または修了単位として認定される科目を全てカウントしてください（卒業または修了単位として認定されない資格・教職科目は除いてください）。

※不合格科目、合否科目、認定科目は除きます。

※各大学等で使用している成績記号（A、B、C、優、良、可など）と、今回の計算に使用する成績評価は異なる場合があります。各大学の評価基準により、取得点数を確認したうえで、ABCに当てはめてください。

※⑥は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記入してください。

















※推薦文の記載内容は、別紙により作成していただいてもかまいませんが、その場合には必ず別紙にも署名捺印をお願いします。

1. 本法科大学院へ推薦されるにあたり、対応する欄にレ点をつけるとともに、それを裏付ける具体的な事実をあげて率直な評価をご記入ください。

評価項目	極めて優れている	優れている	良好	普通	判らない
論理的思考能力 (物事を筋道を立てて考え、論理的に理解し、分析し、判断できる能力)					
問題解決能力 (新たな問題に対して、合理的な解決策を見出し、その解決に向けて主体的に取り組むことができる能力)					
プレゼンテーション能力 (自らの考えを、論理的かつ説得的に説明することができる能力)					
コミュニケーション能力 (他者と円滑にコミュニケーションをはかることができる能力)					
使命感 (社会的・公共的な問題について興味と関心を持ち、問題の解決に取り組もうとする気概と情熱を有していること)					
その他 ( )					

評価記述欄





**問い合わせ先**

**國學院大學 法科大学院事務課**

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

電話 03-5466-0492 FAX 03-5466-0536

〔 月～土 9:00～12:40 〕  
13:40～17:00

<http://www.kokugakuin.ac.jp/lawschool/>